特集

エコを 考える

問い合わせ先
環境上下水道課
環境班
☎53－1063

　私たちの日常生活の中で、必ず出るのが『ごみ』です。皆さんは、ごみの処理費用がどれだけかかっているかご存じでしょうか。平成30年度には、香美市だけで3億円を超える経費（市民1人当たり：約1万2000円）が発生しており、大きな財政負担となっています。

　今後もごみの減量が進まなければ、財政面だけでなく、環境面でも、温暖化や大気汚染、森林減少などの地球規模での問題も深刻化していきます。

　今回の特集では、ごみの減量や処理費用の削減につながる、私たち一人ひとりが気をつけるべきことを紹介します。

　もう一度、みんなで勉強していきましょう。

水銀ごみ
263万3，007円
粗大ごみ
2，450万5，146円
資源ごみ
9，630万3，948円
可燃ごみ
1億9，288万3，848円

▲香美市の平成30年度ごみ処理費用（見込み）

ごみ袋を間違えないで

　資源ごみ指定袋の大袋（透明に赤字印刷）は、ペットボトル、容器包装プラスチック、衣類の3種類専用です。その他の不燃物や金属類を大袋で出されても収集されませんのでご注意ください。

分別して出しましょう

　資源ごみをきちんと分別して出すことで、可燃ごみが減少し、処理費用の削減につながります。可燃ごみとして出す前に、リサイクルできないか、もう一度考えてみませんか。

　ペットボトルについては、本体はペットボトル、キャップ・ラベルは容器包装プラスチックで出してください。

『ごみ分別の手引き』や『家庭ごみの分け方・出し方』は、環境班で配布しています。

生ごみ処理容器

　香美市では、家庭で生ごみ処理容器を設置した場合、購入費用に対して予算の範囲内で補助金を交付しています。

　家庭から出るごみを減らすだけでなく、処理したごみを肥料として循環できます。

事業所ごみは適切な処理を

　事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物（ごみ）を自らの責任において適切に処理しなければなりません。

　事業所から出るごみは、家庭用のごみ集積所には出せません。

　事業系一般ごみは自ら処理をするか、市が許可した一般廃棄物処理業者に委託し、業務用指定袋（**可燃ごみのみ**）で出してください。

　市では、平成28年2月に**香美市一般廃棄物処理基本計画**を策定し、10年後の令和7年度を目標に、ごみの排出量の削減や資源化の向上のための具体的な数値目標を定め、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担を明確にし、協働での**循環型社会**（※有限である資源を効率的に利用するとともに再生産を行って、持続可能な形で循環させせながら利用していく社会）の構築を目指すための指針としています。

【基本方針】

◆ごみの3R『リデュース（発生抑制）』『リユース（再使用）』『リサイクル（再生利用）』の考え方に基づき、市民とともに新しいごみ処理システムづくりを推進

◆ごみ処理の最終目標である循環型システムの構築

◆公共下水道や浄化槽などによる生活排水の適正な処理の推進

　また、基本方針に合わせ、令和7年度までの目標値を設定しています。

◆ごみ排出量の12％減量（平成24年度比）

◆リサイクル率20％までの向上を図る

◆生活排水処理率の目標を75・5％とする（平成26年度53・2％）

　これらの目標を達成するためには、市民・事業者・行政それぞれの努力が必要となります。

　ご協力をお願いします。

生ごみの水切り

　家庭から排出される可燃ごみのうち、約20％が生ごみです。さらに生ごみの約80％が水分です。香美市の1万2970世帯（平成31年4月1日現在）が毎日25ccの水切りを行うことで、年間約118ｔのごみが削減されます。

▼誰でも簡単に排水溝のごみの水切りができる『押しの一手』

香南清掃組合で、1個300円で販売中です。
今月号のかみかみクイズでは
10名様にプレゼント！！